

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科		
科目名称 [英語名称]	特別支援教育 [Special support education]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	421120	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	瀬戸口 裕二			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP2(1) DP3(1) DP3(4)		
授業概要	<p>国際障害者年を契機とした障害者の権利や社会参加の拡充は、社会的に矢継ぎ早の改革や大きなパラダイムシフトをもたらせた。教育界においても障害のある幼児・児童・生徒の教育制度が特殊教育から特別支援教育へと変貌を遂げてきたといえる。本講義においては、これらの変遷の必然性や経過及び意義について学ぶと共に、障害の基本的理解を深め、教職を目指す上で障害児について学ぶことの意味を深く理解していく。特別支援教育コーディネーターとして教育委員会との連携や地域支援体制構築の研究を行ってきた経験から、特別支援教育を実践的な立場から解説し、現在の課題と展望を理解できるようにする。</p>						
関連する科目	障害児教育入門						
授業の進め方と方法	<p>授業は、資料やプレゼンテーション、多様な動画や記録などに基づいて展開します。この授業では、必然性や根拠に基づいて、できるだけ学生自らが推論したり協議したり思考を深めていったりすることを目的として、小グループを構成します。基礎となるグループでディスカッションしたりプレゼンテーションを行う経験を通して、学習の進化を目指します。</p>						
授業計画	<p>第1回: 特殊教育から特別支援教育へ(国際障害者年) 第2回: 特殊教育から特別支援教育(障害者の権利条約) 第3回: 特殊教育から特別支援教育(「21世紀の特殊教育のあり方について」最終報告以降) 第4回: 特別支援教育と普通教育 第5回: 特別支援教室と特別支援学級 第6回: 特別支援学校(視覚障害・聴覚障害) 第7回: 特別支援学校(知的障害) 第8回: 特別支援学校(肢体不自由・病弱) 第9回: 発達障害と特別支援教育 第10回: 特別支援教育を支える諸制度 第11回: 交流教育とインクルーシブ教育 第12回: 二重学籍と副籍 第13回: 地域支援体制と特別支援教育コーディネーター 第14回: 関係機関と連携 第15回: 特別支援教育の課題と展望 定期試験</p>						
授業の到達目標	<p>(1) インクルーシブ教育システムをめざす、特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを理解する。 (2) 発達障害をはじめ多様なニーズをもち、支援を必要とする幼児・児童・生徒の心身の発達、心理的特性及び学習の過程を理解する。 (3) 障害がある暮らしについて深く理解しようとする態度を持つ。</p>						
授業時間外の学修	<p>毎回の授業でグループディスカッションや発表などの多様な授業形態を展開します。そのためには、授業以前の準備が求められます。 授業では、前時の振り返りや前時以降の学習成果の発表を行うことを通して学習の進化をはかります。</p>						
課題に対するフィードバック	小グループごとの発表課題は、自己評価や相互評価が得られる機会をもち、補則解説や教員による評価をフィードバックします。	評価方法		授業での発言や提出レポートの内容(40%)、および最終試験またはレポート(60%)で総合的に評価する。最終試験においては、事項の暗記よりも、特別支援教育に関する理解の程度や問題意識を評価する。			
テキスト	必要に応じて資料を配付し、テキストは使用しない。						
参考書	柘植雅義ほか編著 はじめての特別支援教育改訂版 有斐閣 瀬戸口裕二編著 特別支援教育月めくりカレンダー 金子書房						
備考							